

## 江南市スポーツ少年団 春季軟式野球大会 開催要項

1. 主 旨 各団より団員の参加を得て、軟式野球大会を開催し団員相互の親睦並びにその資質の向上を図り、スポーツ少年団の発展を目指す。
2. 主 催 江南市スポーツ少年団本部
3. 主 管 江南市スポーツ少年団軟式野球運営委員会
4. 後 援 江南市軟式野球連盟
5. 日 時 令和8年3月7日(土)、14日(土)、21日(土)、28日(土)  
予備日：令和8年4月4日(土)、4月11日(土)  
※開会式は、大会初日の午前8時30分から
6. 会 場 蘇南公園多目的グラウンド、南野グラウンド
7. 参加資格 江南市スポーツ少年団本部に登録されている団員20名以内および指導者1名以上で構成されたチームであること。
8. 参加料 Aクラス、Bクラスとも4,000円/1チーム
9. 使用球 マルエスJ号ボール（1試合ごと両チーム2個提出のこと）
10. ルール 2025年版公認野球規則及び競技者必携の少年野球に関する事項及び江南市スポーツ少年団軟式野球ルール（申し合わせ事項）による。
11. 表彰 Aクラスは、本部より優勝・準優勝・第三位に賞状・賞品を授与する。  
第四位に敢闘賞として賞状を授与する。（参加チーム数により敢闘賞なしがあり得る）  
Bクラスは、江南市軟式野球連盟より奨励賞を授与する。  
奨励賞の授与チーム数は、参加チーム数によります。
12. 傷 害 本大会中の傷害については、応急の処置は行うがその後の責任はスポーツ安全保険の範囲内とする。
13. 監督者会議 令和7年2月21日(土) 午後7時 KTXアリーナ 会議室5

14. 申込方法 各団で取りまとめのうえ、別紙申込書により参加料を添えて監督者会議時に申し込むこと。江南市個人情報の保護に関する法律施行条例（令和5年4月1日施行）により参加選手の「同意の意思」は「大会申込書」で行う。
15. 問合せ先 江南市スポーツ少年団軟式野球運営委員会（委員長 古西 稲船）
16. 中止決定 大会当日の午前7時に決定し、各運営委員よりチームに連絡する。
17. 備 考 ①エントリーは単位団ごとに行うこと。  
開会式入場の際は、団旗とプラカードを使用すること。応援旗は不可。
- ②Aクラスの1番くじを引いたチームが、選手宣誓および開会式の典礼を行う。
- ③Aクラスの決勝戦・3決は、各チームよりアナウンス係を選出すること。  
アナウンス係は、試合開始30分前に指定された場所に集合すること。
- ④閉会式の典礼は、Aクラスの優勝チームより選出して行うこと。
- ⑤打順表は本通を含め、3枚提出してください。  
打順表の交換は、試合開始予定時刻30分前に大会本部にて行います。  
\*ただし開会式直後の第一試合の打順表交換は、開会式後に行います。
- ⑥Aクラスの優勝チームは、**第48回**全国スポーツ少年団軟式野球交流大会へ、  
Aクラスの準優勝チームは、原則として**第57回**愛知県スポーツ少年大会西尾張地区大会へ出場する権利を有する。  
上位大会へは、権利を得たチームが出場するものとする。また、原則として選手の入替は出来ない。
- ⑦Aクラス、Bクラスのダブルエントリーは可能とする。但し、Aクラスの試合を優先とするため、Aクラスの勝ち負けによりBクラスの試合日程が変更となる事はご了承ください。
- ⑧大会日程上、勝ち上がり等により1日に2試合となる場合があります。

## 江南市スポーツ少年団軟式野球ルール（申し合わせ事項）

1. ルール 2025年版公認野球規則及び競技者必携の少年野球に関する事項による。
2. 試合 Aクラス、Bクラスに分けて実施する。  
ただし各クラスは次のとおりとする。  
\* Aクラス〔新6年生以下〕（ただしチーム構成上、新5・4年生の出場も認める）  
\* Bクラス〔新5年生以下〕（ただしチーム構成上、新4・3年生の出場も認める）

### （1）Aクラスの部

- ・トーナメント方式とする。
- ・試合は6イニング制とし、1時間30分を超えて新しいイニングに入らない。
- ・タイムオーバーの場合、勝っているチームが後攻攻撃中の時はその時点で試合終了とする。負けているチームが攻撃中の場合は3アウトまで行う。
- ・コールドゲームは、4回以降7点差以上とする。
- ・同点の場合は、タイブレーク方式で勝敗を決する。
- ・タイブレーク方式は1イニングとし、ノーアウト一塁・二塁で実施する。
- ・勝敗の決しないときは、最終出場ナイン（打順により行う）による○×抽選にて勝敗を決する。
- ・ボークについては、即適用とする。
- ・試合前にシートノックを行います。
  - \* 後攻チームから行います。
  - \* 時間は5分間とします。
  - \* 大会運営上、シートノックを行わない場合があります。

### （2）Bクラスの部

- ・試合方式はブロック戦とし、各ブロックは参加チーム数により3～4チーム程度とする。
- ・各チーム2試合を行う。
- ・1イニングの攻撃は、3アウトまたは5点で交代とする。
- ・ブロック順位の決定は、①勝ち数→②得失点差→③得点の多い順とする。
- ・試合は6イニング制とし、1時間30分を超えて新しいイニングに入らない。
- ・タイムオーバーの場合、勝っているチームが後攻攻撃中の時はその時点で試合終了とする。負けているチームが攻撃中の場合は3アウトまで行う。
- ・コールドゲームは、4回以降10点差以上とする。
- ・同点の場合は、タイブレーク方式で勝敗を決する。
- ・タイブレーク方式は1イニングとし、ノーアウト一塁・二塁で実施する。
- ・タイブレークで勝敗の決しない時は、引き分けとする。
- ・タイブレークでの得点は、順位決定の得点に加算しない。
- ・ボークについては、1回目は注意。2回目以降ボーク適用する。
- ・シートノックは行いません。
- ・試合球2個のうち1個は新球とするが、1個は新品相当で可とする。

### （3）クラス共通（ティーボールは除外）

〔競技運営等に関する事項〕

- ・各チームは試合予定時間の30分前に、大会本部へ打順表〔3部〕と試合球2個を提出し、大会申込書（登録原簿）との照会を受けた後、運営委員および監督の立会いのもとにキャプテンが、ジャンケンにて攻守を決定する。
- ・降雨および日没により試合続行不可能な場合は、4回終了時で試合成立とする。試合成立以前に続行不能になった時は、再試合とする。（継続試合は採用しない）

- ・監督はタイムを要求しないまま、みだりにベンチを出てはならない。
- ・抗議のできる者は監督・当該プレーヤーとする。
- ・攻守交代は駆け足でスピーディに行くこと。ただし、投手に限り内野地域内は歩いてでも差支えない。また、監督がマウンドへ行き帰りする際は、小走りでスピーディに行くこと。
- ・タイム中、監督がフィールド内に入ることができるのは、同一投手につき1イニング2回までとする。2回目は投手交代時とする。
- ・監督、選手がタイムをとってマウンドに集まるのは、1試合3回までとする。
- ・試合終了後、両チームで簡単なグラウンド整備を行うこと。
- ・一人の投手が一日に投球できる数を70球以内とする。(4年生以下は60球以内)
  - \*競技者必携(2025)P.50 7項による
  - \*両チームから1名ずつ、投球数のカウント係りを選出する。
  - \*カウント係りは、相手チームの投球数をカウントすることとする。
- ・ホームへのスチール及びディレイドスチールは禁止とする。

#### [球審について]

- ・球審は、江南市軟式野球連盟および江南市スポーツ少年団審判講習会受講者で行う。
- ・監督者会議後に、球審を担当する単位団を決定する。
- ・審判講習会受講者は、受講証を持参のこと。
- ・競技場内での特別規則は、運営委員と担当審判員が協議して決定する。

#### [塁審について]

- \*Aクラス
  - ・塁審は、当該試合の前審または後審とする。一日の試合数により前後審による塁審が不可能な場合は、当該チームから1名ずつ塁審を選出して三審制で行うことを原則とするが、場合によっては運営委員が塁審を務めることとする。
  - ・球審および塁審は、審判用帽子を着用すること。(単位団の帽子は使用不可)
- \*Bクラス
  - ・当該チームから1名ずつ塁審を選出して三審制で行う。

#### [チーム編成等について]

- ・チームは、監督1名、コーチ2名以内、選手20名以内で編成すること。
- ・ベンチに入れる人員は、監督、コーチ、選手及びチーム責任者(引率責任者)、マネージャー、スコアラー各1名とする。
- ・背番号は監督30番、コーチ29番、28番、主将は10番とし、選手は0番から99番とする。
- ・合同チームでの参加を認める。

#### [用具、装具、ユニフォーム等について]

- ・同一チームの監督、コーチ、選手は、同色、同形、同意匠のユニフォーム、帽子を着用すること。
  - ※Cクラスについては適用しない。ただし、試合前に球審と相手チームの承諾を得ること。
  - ※合同チームについては、各所属チームのユニフォーム、帽子着用を認める。
- ・金属製金具のついたスパイクを使用することはできない。スパイクの色は自由とし、全員同色でなくても構わない。
- ・捕手は、連盟公認のレガース、プロテクター、S・Gマークのついた捕手用マスク、スロートガード、ヘルメットおよびファウルカップを装着すること。
- ・打者、次打者、走者およびベースコーチは、S・Gマークのついた連盟公認のヘルメット(両側イヤーフラップ付)を必ず着帽すること。最低7個用意すること。
- ・捕手用マスクは軟式少年用を使用すること。
- ・試合開始前に、審判または運営委員による用具のチェックを受けること。

[試合中の禁止事項等について]

- ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。メガホンは使用禁止。
- 競技場内（ベンチを含む）では、喫煙及びガム等を噛むことを禁止する。
- 相手チームや審判員に対する聞き苦しい野次は厳禁とする。また、スタンド等からの応援の野次および目に余る行為はチームの責任とする。
- 上記事項に違反する場合は、審判が退場を命ずることがある。